

呉の景気観測（D I 方式）

- 令和3年6月調査結果 -

呉商工会議所

呉市企業の景況は、4期連続上昇も、新型コロナウイルスの影響が続き楽観視出来ない
 - 半導体不足、時短・休業等の影響により、先行き不透明で厳しい状況が続く -

- ・調査方法 郵送によるアンケート調査
- ・調査内容 景況のほか、生産額・売上額など10項目について
- ・令和3年6月を前年同月と比較
- ・令和3年7月～9月の先行き見通しを令和3年6月と比較
- ・調査時期 6月中・下旬
- ・調査対象 呉市内の業種別主力企業92社
 (回答67社、回収率72.8%)

・6月の景況を見ると、下の表の通り、
総合（全業種）DI（良い-悪い）は△10.0→△6.0と、全体では前期に比べ、4.0ポイント上昇の推移。
業種別では、**製造業**は、約5.5割の企業が横ばいの回答で、DIは△12.2→△5.0と上昇した。
非製造業は、約7.7割の企業が横ばいの回答で、DIは△6.9→△7.4と横ばい。

【DI方式について】
 DI（ディフュージョン・インデックス）は、各調査項目について判断の状況を示す。
 ゼロを基準として、プラスの値は景気の上向き傾向（「良い」）をあらわし、マイナスの値は景気の下向き傾向（「悪い」）をあらわす。
DI = (増加・好転等「良い」の回答割合)
 - (減少・悪化等「悪い」の回答割合)

・7～9月の先行き見通しでは、
総合（全業種）DIは△20.0→△3.0と、前回予測から17.0ポイント上昇で推移する見通し。
業種別では、**製造業**は、DIは△19.5→0.0と上昇する見通し。
非製造業は、DIは△20.7→△7.4と上昇する見通し。

総合（全業種）では、△10.0→△6.0と、呉市の景況は前期に比べ、4.0ポイント上昇の推移。来期は△20.0→△3.0と、前回予測と比較して上昇の見通し。

業種別概況は、製造業は上昇し、非製造業は横ばいの動きとなった。6月調査による7～9月先行きDI数値は、令和3年3月調査による4～6月先行き見通しに比べて製造業・非製造業共に、上昇の見通しで推移する予測。

呉市の景況は、製造業は上昇、非製造業は横ばいで、全業種として上昇の動きとなっているが、前年のコロナ禍の影響との比較の為、本回復とは一概に言えない状況。製造業は、「生産額、受注額の増加」「自動車関連市場の回復」等により売上が好転。しかしながら、コロナ禍の影響で、「イベント関係の影響」「対面営業できず、受注減」「原材料価格の増加」等売上・収益が悪化。さらに、航空関連は「納入予定激減」「航空産業の需要低迷」等受注量が大きく減少し、引続き厳しい状況が伺える。非製造業は、「新製品の販売で好転予想」「販売単価の増加」など明るい状況も見受けられたが、「時短や休業」で、来店客が減少し飲食店・小売店の売上げが減少。それに伴い卸売業に影響が出ている状況。また、ホテル業も厳しい状況が続いており、それに関連した業種など幅広く影響が出ている模様。

来期の景況は、世界経済の持ち直しや自動車業界の回復傾向など、一部明るさも見受けられるも、コロナ禍の長期化で「厳しい状態が続くと予想」「収束しない限り好転はない」といった声があった。また、「半導体不足の影響で、受注・生産面等見通しが立たない」等、先行き不透明で厳しい状況が伺える。

業種別景況DI

	2021年 3月 実績	2021年 6月 実績	今 期			3月調 4～6月 見通し	6月調 7～9月 見通し	来 期		
			回答社数構成比 (%)					回答社数構成比 (%)		
			好転	横ばい	悪化			好転	横ばい	悪化
総合（全業種）	△10.0	△6.0	14.9	64.2	20.9	△20.0	△3.0	14.9	67.2	17.9
製造業	△12.2	△5.0	20.0	55.0	25.0	△19.5	0.0	17.5	65.0	17.5
非製造業	△6.9	△7.4	7.4	77.8	14.8	△20.7	△7.4	11.1	70.4	18.5
建設業	16.7	16.7	16.7	83.3	0.0	△33.3	0.0	16.7	66.7	16.7
卸売業	△7.7	△8.4	8.3	75.0	16.7	△23.1	0.0	16.7	66.7	16.7
小売業	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
サービス業	△33.3	△40.0	0.0	60.0	40.0	△16.7	△40.0	0.0	60.0	40.0

呉市の業種DI(R1.6～R3.6)

